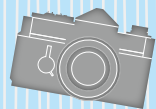


まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
連絡先 市まちづくり推進室 ☎43・8113



ルーマニアの選手もやってきた

古賀・福津スポーツフェスタ2019



▲イベントに登場したルーマニア柔道連盟のフロリン・ベルシアン副会長(前列右端)と大石監督率いる選手団

11月30日、イオンモール福津で「親子で学ぼう! 楽しもう! 古賀・福津スポーツフェスタ2019」を開催しました。

福津市と古賀市は、ルーマニア柔道ナショナルチームのオリンピック事前キャンプ地に決定したことを契機に、昨年2月にルーマニアとの相互交流を行うホストタウンとなりました。このイベントでは、2004年アテネオリンピックと2008年北京オリンピックの柔道女子63キロ級金メダリストである谷本歩実さんと、ルーマニア出身者によるトークショーやオリンピック競技の疑似体験などを通して、参加者にスポーツとルーマニアに対する親しみや理解を深めてもらいました。

また、イベントにはトレーニングキャンプで滞在中のルーマニア柔道選手団が、津屋崎武道館での練習後に会場に駆けつけ、大石公平監督と選手たちがオリンピック出場に向けた決意を語りました。

福津を拠点に各地で活動中

ペルーの音楽グループ「リチャリー」

ペルーの民族音楽グループ「リチャリー」が、平成27年から毎年、福津を拠点に日本の音楽活動を行っています。

これまでも市内では、拠点としていた地域での演奏などがありました。今回は11月



▲「いつも優しく迎え入れてくれてありがとう」と話したりチャリーの皆さん

23日に、カメラアホールでジャパンツアールが初めて開かれました。ホールには、立ち見を含めておよそ500人が集まり、満席となりました。

リチャリーはペルー全域のペルー国内でもまれな存在のグループです。独特な楽器で奏される「コンドルは飛んでいく」や日本の楽曲に集まった観客は酔いしれていました。家族の誘いで見に来たという女性は「リチャリーのことを知らなかったが、どこか懐かしさを感じる音楽に感動した」と話してくれました。

外国人労働者と共に生きる社会へ

人権講演会



▲旧福岡・津屋崎町の担当記者も務めた坂本さん

人権講演会を12月7日、市中央公民館で開催しました。講師は西日本新聞社の記者、坂本信博さん。日本で働く外国人労働者の取材を通して見えてきた、実態や課題を講演してもらいました。サービス業などの分野の人手不足に、外国人労働者が活躍している点などを示し「外国人労働者の問題は、誰一人として無関係なことではない。他人の不幸の上に、自分の幸福を築くことをしない社会を目指そう」と話しました。

交通事故に遭わない、起こさないために

高齢者の運転について考える講演会



▲自動車の安全運転支援機能の説明を聞く参加者

カメラアホールで、11月16日に「高齢者の運転について考える」講演会を開催しました。宗像警察署交通課と古賀自動車学校から講師を迎え、講話を通して、加齢に伴う心身の変化や交通事故の防止などについて学びました。また、屋外では自動ブレーキなどの安全運転を支援する機能を搭載した自動車の展示もありました。

津屋崎千軒古民家に新たな店

猫ル百貨店が開店



▲店主の岩永さんと店の名前を考えた娘の三雲さん

市が個人から寄贈を受け、所有する「津屋崎千軒古民家」は、津屋崎千軒周辺のにぎわい創出を目的として、数年ごとに運営者を募集しています。11月22日からは、市内在住の岩永美保さんが「猫ル百貨店」を運営しています。店内では雑貨の販売や、手作りの菓子、飲み物も提供しています。岩永さんは「いつか自分の店を持ってみたいと思っていた。この地域の憩いの場にしていきたい」と話してくれました。

冬の味覚「津屋崎千軒かき」を堪能

お魚センターで津屋崎千軒かきまつりを開催



▲3月中旬ごろまで開設される予定のかき小屋

津屋崎千軒かきまつりが11月23日に開催されました。このかきは宗像漁協津屋崎支所と県立水産高校とで、津屋崎で養殖したものです。まつりではかきの特売や漁協女性部特製のみそ汁が振る舞われ、生徒たちも試食の提供などを手伝いました。また、かき小屋がオープンし、来場者は新鮮な魚介類と一緒に焼きたてのかきを味わっていました。